

『学校だより』令和5年度11月号

Escuela Japonesa de Panamá

パナマ日本人学校

TEL: 223-7782 FAX: 264-4751

E-mail:japonesa@panama.lolipop.jp

<http://panama.lolipop.jp/>

在籍数

小学部 11名

中学部 2名

合計 13名



教室が一番の学びの場であること

校長 宗像 玲

10月末に予定されていた修学旅行は、政府に対する抗議活動がパナマ全土で激化し、収束の見通しが持てなかったことで、残念ながら延期することになってしまいました。また、子どもたちの登下校時の安全確保を最優先し、やむなくオンライン授業に切り替える事態が続きました。それぞれのご家庭でご理解とご協力を賜りましたことに、お礼を申し上げます。ありがとうございます。

高学年や中学部の子どもたちは修学旅行に向けて、係分担を決めたり、活動内容を決めたりして、家族旅行に行くのとはちがう旅支度気分を味わいながら、うきうきしていたところだったでしょう。旅行中の集団としてのルール作り、食事のメニューの選択、協力し合う活動計画、出発前に様々なことを話し合うことも修学旅行の学びの一環です。「全員が楽しめるかどうかは、事前の取り組み方で決まる」と教師に成り立てのころ、先輩教員に教わりました。そして旅行当日には、人数が少なくてもそれぞれ別の家庭で育った子どもたちが、一宿一飯を共にすることで何かを感じ、何かを学び合う機会になると思います。延期した日程で、実施できることを心から願っています。

今回初めてオンライン授業を体験した子どももいました。約150年前から続く子どもたちが学校の教室で学ぶという「伝統のスタイル」と別の方法として、「家」にしながら授業を受けるという選択肢ができたのは、社会の情報化に伴う当然の流れですが、コロナ禍の思わぬ効果でもあります。「1人1台のタブレット」の環境整備が急激に進み、子どもたちは日頃からタブレットなどを使い慣れているので、遠隔の指示であっても戸惑うことなく課題に取り組めるようです。ただ教員も子どもも、ディスプレイに集中し続けることで疲労度が増すことは避けられません。塾の講習や語学レッスンなどをオンラインで受講するという経験も、子どもたちの中に広がっているようですが、学校としてはやはり「教室」という学びの場に、元気な子どもたちが集まり、そこで学び合うという本来の姿が一番だと思います。教室での学びが外因によって停止されることが繰り返されないよう祈るばかりです。

日本とはちがった環境の中にあっては、今後もどのような事態が発生するか予想が付きません。その時々日本人会、運営委員会の皆様から情報を収集し、大使館からの指導助言もいただき、子どもたちの安心・安全を第一に考え、保護者の皆様にご理解いただきながら危機管理に努めて参りたいと思いますので、引き続きご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

11・12月の主な行事



エписコパル校訪問 インターナショナルデー-見学



エписコパル校訪問では、日本の歌で迎えていただき、各学年のクラスで学習しました。緊張しましたが、集団での学習を体験する貴重な機会となりました。また、インターナショナルデーでは、エписコパル校児童生徒の発表を楽しむとともに、日本の新しい文化を紹介しました。

